

登録コード	E4630900	開講年度	2026			
授業科目	中等理科指導法基礎				担当教員	藤森 隼一
英文授業名	Basic study in science education				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限	対象学生
講義室	教育W 5 0 6 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ，2 5 Eカリ，2 4 Eカリ，2 3 Eカリ，2 2 Eカリ，2 1 Eカリ，2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				理科の指導法や授業構想などに関する多様な考えに触れ，自らの問題意識に基づいて学び続けることができる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				中学校理科の目標などを踏まえ，効果的な指導法に基づく授業を構想することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	・ 中学校理科の目標や内容，指導法などについて理解し，それをいかした授業を構想し実践することで，中学校理科の授業を行うために必要な実践的指導力を身につけることを目指します。 ・ 担当教員が義務教育学校での実務経験をいかして講義を行います。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス，中学校理科の目標などについての講義（STEAM教育の観点を含む）【レポート】 第2回：問題解決の過程および指導と評価の一体化についての講義と討議【レポート】 第3回：学習指導案の作成に関する講義およびそこに位置づけられる学習問題と学習課題の検討【レポート】 第4回：指導案の作成および授業づくりに関する講義と討議【レポート】 第5回：授業構想の発表とリフレクション【レポート】 第6回：理科の系統性に関する講義と学習指導案の作成【学習指導案】 第7回：中学校理科学習指導案の発表とリフレクション【学習指導案】 第8回：安全教育に関する講義と討議，模擬授業の計画【レポート】 第9回：中学校理科の模擬授業（模擬授業にはICT活用を含む） 第10回：中学校理科の模擬授業 第11回：模擬授業のリフレクション 第12回：中学校理科の模擬授業 第13回：中学校理科の模擬授業 第14回：模擬授業のリフレクション，授業アンケート 第15回：期末試験 【 】内には，その授業における課題を示しています。					
(6)成績評価の方法	・ 中学校理科の目標や指導法など，講義の内容を理解しているかについて筆記試験（30％），講義に関するレポート（25％），学習指導案（25％），模擬授業における相互評価（15％），模擬授業のリフレクション（5％）を総合的に評価します。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりです。 「秀」90％以上，「優」89-80％，「良」79-70％，「可」69-60％，「不可」60％未満。					
(7)成績評価の基準	【レポート】 題意を踏まえて記述できる，具体的に記述できる，根拠を述べることができる，自分の意見を述べることができる，端的にまとめて述べることができる，～のすべてを満たしていれば「かなり上である」，4項目できていれば「やや上である」，3項目できていれば「水準である」です。 【学習指導案】 主眼は小学校理科の目標を踏まえている。また，本時の評価は主眼に対応している，学習問題と学習課題は，適切に設定されている，学習活動に沿って，授業者の主な発問を考えられている，予想される子どもの反応は，授業者の主な発問に対応している。また，児童の視点から考えられている，留意点や教材を適切に記述している，～のすべてを満たしていれば「かなり上である」，4項目できていれば「やや上である」，3項目できていれば「水準である」です。 【模擬授業】 単元の概要を伝えている，主眼や評価，育みたい資質・能力など，本時の位置づけを伝えている，学習に対する興味・関心を高めている，学習問題を明確にし，はっきりとした目的意識を持たせようとしている，児童の経験を共有し，学習内容と結びつけようとしている，～のすべてを満たしていれば「かなり上である」，4項目できていれば「やや上である」，3項目できていれば「水準である」です。 【模擬授業のリフレクション】 授業の成果を適切に分析している，授業の課題を適切に分析している，参加者の意見を考慮している，成果と課題を踏まえた授業の改善案を示している，改善案を踏まえて，次の模擬授業の基礎を構想している，～のすべてを満たしていれば「かなり上である」，4項目できていれば「やや上である」，3項目できていれば「水準である」です。 【筆記試験】 中学校理科の目標や指導法など，講義の内容について深く理解している場合（90％以上）は「卓越している」。概ね内容を理解している場合（89-80％）は「かなり上にある」。内容を理解している場合は（79-70％）「やや上にある」。授業づくりに必要最低限の知識と理解がある場合（69-60％）は「水準にある」。					

(8)事前事後学習の内容	・授業の内容について，レポートを提出してもらいます。 ・授業の内容に関わる文献を読んでください。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容です。したがって，60時間以上の自主学習が必要です。
(9)履修上の注意	・すべての授業に出席するとともに，レポート等の課題に取り組み復習をしてください。 ・レポートは，eALPS上から所定の書式をダウンロードし，eALPS上で提出してください。 ・この授業だけでは，中学校理科の指導法に関する内容をすべて取り扱うことはできません。本授業を機会に授業の内容に関係する文献を読むことなどを通して，授業の内容を深く理解し中学校理科の指導法に関する基礎を理解し，実践的な指導力を身につけられると考えています。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	在室であればいつでも，W313室，fujimori_junichi@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説理科編，2018，学校図書，108円（税別）
【参考文献】	随時，紹介します。